事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　5年　10月　25日　　事業所名　こだまの郷放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			当事業所の主たる訓練指導室は79.95㎡あり、集団活動を行える十分な広さを備えております。	
	②	職員の配置数は適切である	3		1		処遇の改善や研修機会の確保により職員の定着と育成を目指してまいります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			玄関先はスロープになっており、室内は段差がありません。	今後、事業所内にて配慮が必要になった際には、適宜ご対応をさせて頂きます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			目標設定から効果測定に至るまで全職員が参画し、支援の方向性を一致させております。	科学的な支援と個人の尊厳のバランスを常に意識しながら、お子様一人ひとりと向き合うことが大切だと考えております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				連絡帳アプリ等で保護者様のご意向を調査し、日々の支援に役立ててまいります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		2	2	今回の集計が初めてとなります。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	2		現在、保護者様の評価と社内評価のみでありますが、必要に応じ外部評価の実施を検討してまいります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			法定の研修に加えて、リタリコ等の外部研修にも参加しております。	職員には、サービス管理責任者等研修、強度行動障害支援者養成研修等、外部研修の受講を推奨してまいります。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			アセスメントの際は、お子様の具体的な課題と、お子様・保護者様の生活に対する意向を調査し、支援の方針と支援の目標を設定しております。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		リタリコのアセスメントツールを用いることによって科学的に分析しております。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			専門職や行政機関、保護者様を交え、立案を行っております。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			お子様の状況に応じたプログラムを実施しております。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3		短期、長期目標を設定し、モニタリングしております。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4			お子様の状況や事業所の体制を考慮し、より効果的だと思われる個別、集団プログラムを組み合わせて支援しております。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	4			毎日ミーティングを行い、連絡事項や支援目標を職員間で共有しております。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			支援終了後に振り返りを行い、日々の支援に活かしております。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			連絡帳と業務日誌に支援内容を記録し、支援の検証・改善に取り組んでいます。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			6ヶ月ごと、あるいは必要に応じて個別支援計画の見直しを行っております。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	1	3		ガイドラインを踏まえ、お子様の最善の利益を考慮し、支援しております。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	3		管理者が、各ケースに応じて適任者を指名し、参画させています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			学校の行事予定表からスケジュール表を作成し、毎日ダブルチェックをしております。常日頃から学校との連携に取り組みトラブル防止に努めております。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	3	現在、医療的ケア児の受け入れは行っておりません。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1	2	児童発達支援事業所、相談支援事業所とケース会議を設けて情報収集を行っております。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			4	学校を卒業し、他の障害支援サービスへ移行したお子様の利用実績はありませんが、必要になった際は情報提供させて頂きます。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3			外部の機関と共同で事例検討会等を行い、サービスの質向上に努めてまいります。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1		3	同法人内のこだま保育園の園児との交流会を定期的に設けております。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4			草加市障害児通所支援事業所連絡協議会に所属しております。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			日頃から、保護者様とコミュニケーションを多く取ることで、事業所の取り組みやお子様の発達状況に関してお伝えさせて頂いております。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		1	3	ご家庭にて、お子様とのより良いご関係が築けますようご支援させて頂きます。	
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時にご説明をさせて頂いております。ご不明な点がございましたらご連絡くださいませ。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			保護者様よりお聞きした、お子様のご家庭での状況を踏まえ、個別支援計画を策定しております。	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	1		保護者様同士が連携できる機会を設けたいと考えております。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			重要事項説明書に苦情対応窓口を記載し、契約時にご説明させて頂いております。	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2		現在、定期的な会報の発行は行っておりませんが、活動状況や行事予定に関しましては随時、連絡帳アプリを通して発信させて頂いております。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	㉟	個人情報に十分注意している	4			個人情報保護に関するガイドラインに基づき厳重に取り扱っております。	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			お子様の特性に応じて、視覚支援等（絵カードや短い文章）を利用し、意思疎通が取れるよう工夫しております。	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3			納涼会を開催しました。これからも外部に開かれた、地域の福祉拠点としての役割を果たしていきます。	
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			各種マニュアルに基づき委員会や研修を行っております。	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3		非常災害対策計画に基づき定期的に避難訓練を行っております。	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			虐待防止のための指針に基づき、定期的に委員会と職員研修を行っております。	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			身体拘束等の適正化のための指針に基づき、定期的に委員会と職員研修を行っております。	
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			ご面談の際に、アレルギーの有無についてご確認させて頂き、医師の指示を参考に事業所の体制を整えております。	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ヒアリハット事例集を作成し、リスクをできる限り軽減し、お子様が安心して通える環境を整備しております。	

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。